

[ A類美術選修, B類美術専攻 対象 ]

## 学校推薦型選抜解答例

令和4年度

### 小論文

これからの学校教育では、「個別の学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させることが求められている。小学校図画工作科や中学校美術科の授業を通して、このような学びを実現させるには、どのような授業が必要か。あなたの考えを1,600字以内（句読点等を含む）で述べよ。なお、初等教育教員養成課程（A類）美術選修を受験する者は小学校図画工作科を、中等教育教員養成課程（B類）美術専攻を受験する者は中学校美術科を想定して述べよ。

◆下書き用紙は各自持ち帰ること。

#### 出典

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）、中央教育審議会、令和3年1月26日。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo3/079/sonota/1412985\\_00002.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/079/sonota/1412985_00002.htm)

#### （出題意図）

中央教育審議会答申で述べられた「令和の日本型学校教育」を参考に、文言を一部修正して出題するものである。「個別の学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させるために、図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸）で考えられる、教科の課題と改善のための教育内容や方法を、各自に考えて述べさせる問題である。この出題によって、図画工作科及び美術科の目標や内容、意義や特性、果たす役割と課題等について、各自の考えを論理的な文章で述べさせる事を意図している。